

テーマ 砂山にダムや川を作ってみよう

テーマの設定理由

園庭には砂場やままごとコーナーが設置されており、毎日の砂遊びの中で、遊具にたまった雨水などで遊び始める。気温が上がってくると益々砂遊び、泥んこ遊びが盛んになる。乾いた砂に水がかかると色が変わったり、水が溜まる時とすぐに吸い込んでしまうときがあることを不思議に思ったり、興味関心が高まっていたのでこのテーマを設定した。

活動の流れ

日々の砂場あそびからの発展

山づくり、水路あそびセットを使って水を流す

高低差をつくるなどの流れを作るための工夫

準備したもの

水路あそびセット、じょうろ、バケツ、空き容器、シャベル、水

活動内容

- ・砂場に山を作る
- ・砂の山や砂場に水を流す
- ・身近な道具を使って水が流れるよう工夫する

ふりかえり

砂を掘って水を流してもすぐに吸収されてしまうことに気付いていた。水路あそびセットではジョイント部分から水がもれてしまうことに気づき、どうしたら漏れないか、高低差をつけたり、重ねたりと工夫する姿が見られた。

活動中の子どもの姿



トンネルを掘ったら
お水流れるかな？



思ったように流れないね。



やった！
勢いよくながれた！



活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

高低差があると水が勢いよく流れ、山のふもとの川も流れができることに気づく。

水路のつなぎ方によっては水が漏れてしまい、子どもたちが困った時は保育者も一緒に、どうしたら水が漏れなくなるか考えた。

水を流すことを楽しみ、順番を意識したり、年少児にもやらせてあげたりする姿が見られた。